

□主な内容

【第 50 回 EST 脱炭素交通創発セミナーのアーカイブ動画を掲載しました！】

2 月 16 日に開催した EST 脱炭素交通創発セミナー(テーマ:「交通分野の脱炭素化のこれまでとこれから」)のアーカイブ動画を公開しました。以下 URL からご視聴ください。

https://www.youtube.com/watch?v=_qyYeyESZuc&list=PLgFW3RIUC_AQWVMarQVIhuL5Dd6jRvdGq

(YouTube エコモ財団チャンネル)

【「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案」の閣議決定】

地域の輸送資源のフル活用、共同化・協業化等を推進することで「交通空白」等を解消し、持続可能な地域公共交通の実現を図るための「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案」が閣議決定されました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000505.html

□目次

1. 寄稿「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 220 回)

- 脱炭素先行地域でのモビリティ・マネジメントにおける動機付け効果の検証 -太陽光発電・地域公共交通への態度に着目して-

【筑波大学大学院 織田 渚颯、谷口 綾子】

2. ニュース／トピックス

- 第50回EST脱炭素交通創発セミナーのアーカイブ動画を掲載しました！【EST普及推進委員会、エコモ財団】
- 「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案」を閣議決定～「交通空白」等の解消による持続可能な地域公共交通の実現に向けて～【国土交通省】
- 地域循環共生圏セミナー2025の開催レポートを公開【環境省】
- 「物資の流通の効率化に関する法律の一部を改正する法律案」を閣議決定【国土交通省】
- 令和7年度(補正予算)「ゼロエミッション船等の建造促進事業」の公募開始【国土交通省、環境省】

- 特定自動運行(自動運転レベル 4)の一般試乗会開催【塩尻市、塩尻市振興公社、アルピコ交通、アルピコタクシー、A-Drive、アイサンテクノロジー、ティアフォー、損害保険ジャパン】
- シェアサイクル実証事業について【大津市、チャリチャリ】
- 福祉介護・共同送迎サービス「ゴイッショ」の実証実験を実施【川西市、ダイハツ】
- 移動を通じた顧客体験価値を豊かにするプロジェクト「Moving for Good Days Project」始動【東急電鉄】
- 再生可能エネルギー事業の協働実施について ～「合同会社 RD ソーラーパワー」への出資を通じた脱炭素化の取組み【日本政策投資銀行、小田急電鉄、京王電鉄、京成電鉄、京浜急行電鉄、西武鉄道、相鉄クリーンエナジー、東急電鉄、東武鉄道】
- 電気バス「ELEC CITY TOWN」が通学バスとして関西初となる本格運行を開始【Hyundai Mobility Japan、大阪芸術大学、大阪府河南町、エムケイ観光バス】
- 大阪市全 24 区でオンデマンドバスを運行 ～新たに 8 エリアで運行を開始します～【Osaka Metro Group】
- 福岡県古賀市で自動運転バス「自動運転のるーと」実証開始【ネクスト・モビリティ】
- 北山エリアを「e-Palette(イーパレット)」で賑わい創出【北山街協同組合、北山エリア交流連携会議、トヨタ自動車九州株式会社】
- 春休みとゴールデンウィークはチャリチャリ&トヨタシェアで出かけよう！【チャリチャリ、トヨタレンタリース熊本】
- ドコモ・バイクシェア、新ブランド「NOLL」へ刷新 ～乗る人も乗らない人も安心安全なモビリティサービスへ～【ドコモ・バイクシェア】
- 自動運転トラックで引越家財の輸送を実証 ～業界初「輸送」を自動運転トラックに置き換えて、より高品質の「サービス」を実現へ～【サカイ引越センター、ハート引越センター、T2】
- 国内初「関東－関西間の 1 日 1 往復」を実証物流事業者 7 社が協力 ～48 時間以内に 2 往復を達成、レベル 4 で前提となる連続運行のオペレーション構築へ～【T2】
- 国内初、成田国際空港貨物上屋間における自動運転レベル 4 の自動搬送サービスを実用化 ～サブスクリプション型自動搬送サービス「eve auto ReFine」を導入～【ANA、ANA Cargo、芙蓉総合リース、eve autonomy】
- 国際経験に基づく、環境に優しい交通推進のための政策提案【ハノイメディア協会、CESS】
- 水素バスがまもなく運行開始【ポローニャ】

3. イベント情報

- 泉区交通フェスタ 2026【2026/3/28】
- 鉄道 de あそぼう♪ 2026【2026/4/4-5、5/3 他】
- ゴールデンウィークファミリーフェスタ ～鉄道フェア 2026～【2026/5/2-3】
- AI オンデマンド交通シンポジウム 2026【2026/5/15】
- 京急ファミリー鉄道フェスタ 2026【2026/5/17】

- まちづくりデザイン WEEK～健康まちづくり・地域交通 MaaS・GXDX CITY【2026/7/16】
- 第 21 回日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)【2026/9/4-5】

4. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 電動小型低速車に関する情報を掲載しています！
- 「運輸・交通と環境」を発行しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 220 回)

●脱炭素先行地域でのモビリティ・マネジメントにおける動機付け効果の検証 –太陽光発電・地域公共交通への態度に着目して–

【筑波大学大学院 理工情報生命学術院 システム情報工学研究群 リスク・レジリエンス工学学位プログラム
公共心理研究室 博士前期課程1年次 織田 渚颯
教授 谷口 綾子】

1. 背景・目的

本研究では、脱炭素先行地域での交通行動変容を促すため、太陽光発電や地域公共交通の利用に関する動機付け情報が、モビリティ・マネジメント(MM)の施策としてどの程度効果を持つかを検証した。

長野県上田市の上田電鉄別所線沿線における一部地域は、2024 年度から 2029 年度末まで環境省の脱炭素先行地域に選定されている⁰。脱炭素先行地域事業では、対象地域内の住宅や施設・鉄道軌道敷等に太陽光発電設備・蓄電池を設置し、余剰電力を別所線に供給することで日本初のローカル鉄道のゼロカーボン運行を実現することが計画されている。同時に、別所線の利用促進策及び移動利便性向上策を同時展開し対象住民のマイカー依存度を低減させることで、運輸部門の脱炭素化、別所線の維持活性化及び沿線住民の暮らしの質の向上を図ろうとしている。

以上の点を踏まえて、本研究では脱炭素先行地域における交通行動変容のための交通施策 MM の動機付け情報として、何が・どれが適切かを検証するための動機づけ情報作成と、その効果を検証した。具体的には、別所線の沿線住民のうち、脱炭素先行地域内の住民に対し、クルマ・別所線・太陽光発電・脱炭素先行地域についての情報をまとめた「動機付け冊子」を配布しアンケート調査を実施した。その後、統計分析を行い、動機付け情報は有意な効果があるのか、効果がある場合、どの動機付け情報に効果があり、それはどのような個人属性・性格を持つ人に対して効果があるのかを検証した。

2. MM 動機づけ冊子の作成

動機づけ情報の作成にあたって、上田市役所、NPO 法人上田市民エネルギー、筑波大学、信州大学、上田電鉄の関係者が参加した別所線 MM ミーティング全体での目標として「太陽光発電・蓄電池の設置 × 別所線利用促進」をテーマに進めていくことを掲げた。そのため、脱炭素先行地域に関する情報を作成することで「太陽光発電を設置することで別所線に乗りたくなるのか」を検証することとした。また、別所線への愛着や別所線の取り組みがどの程度心を動かすのかを検証するための動機づけ情報も作成した。それらの動機づけ情報との効果を比較するため、藤本ら⁰を参考に、クルマと環境・コスト・事故リスク・健康・子供の成長・自由時間の 6 種類の動機付け情報を選定し引用した。動機づけ情報の内容は上田市が収集したデータに基づいたものに変更した。また、太陽光発電そのものに関する情報も作成

し、合計 25 種類の動機づけ情報を作成した。冊子は全 5 章構成となっている。動機づけ情報の構成は、上部にわかりやすく動機付けの内容をまとめたキャッチコピーを掲載し、その下にキャッチコピーのエビデンスとなるグラフ情報や、詳述する文言(いわゆるボディコピー)を掲載する形式とし、文字のサイズやフォントは全て統一した。冊子全体のデザインはデザイナーに依頼し、助言をいただきながら作成した。



図 1 第 1 章の例



図 2 第 2 章の例

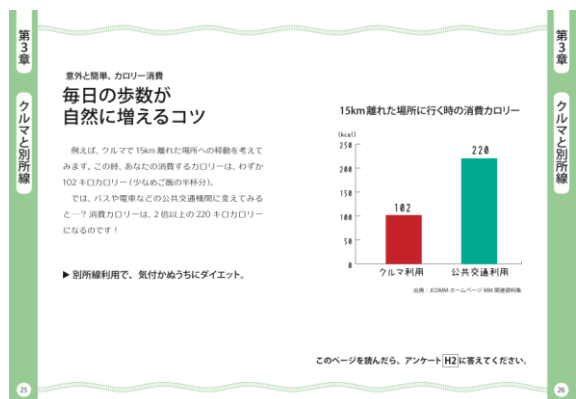


図 3 第 3 章の例

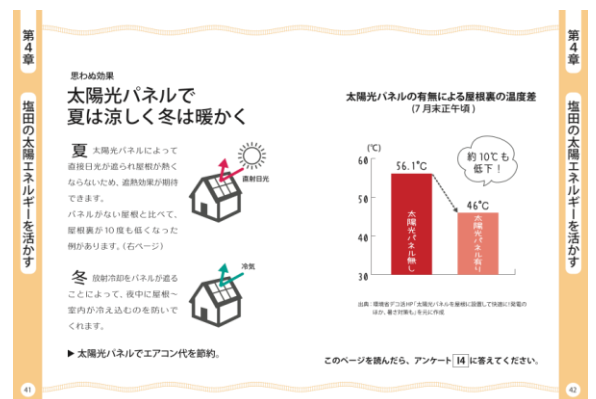


図 4 第 4 章の例



図 5 第 5 章の例

第 1 章の動機づけ情報例は、「赤い鉄橋を復活させた別所線への想い」の図 1 である。別所線は 2019 年の台風で線路上にある「赤い鉄橋」が落橋してしまい、一時は廃線に追い込

まれたという歴史がある。その後、地元や上田市外の多くの方々からの寄付金で鉄橋が復活し、無事に今も別所線は運行しているという経緯がある。この出来事は上田市民には特に印象的であるため、情報を見ることで当時を思い出し、心が動き別所線に乗りたくなるのではないかと考えた。

第 2 章の動機づけ情報例は、「回数券・定期券を自宅で買える！」の図 2 である。この情報は、別所線のチケット QR という決済サービスなら自宅にいながら定期券や回数券を購入できるので、駅の窓口に並んで購入する必要がないという利便性を述べるページである。作成の段階では、「チケット QR で購入する回数券が得である」というメッセージで作成していたのだが、「その情報にはあまり心が動かないよね」と地元 NPO の方にご助言をいただき、メッセージを変更して作成した。

第 3 章の動機づけ情報例は、「毎日の歩数が自然に増えるコツ」の図 3 である。この情報を含めた第 3 章の情報は、2015-2017 頃に神奈川県大和市で当研究室が実施した健康福祉部署と都市交通所が連携した健康 MM で用いられたものを引用しており、他のカテゴリの情報との比較対象となっている。

第 4 章の動機づけ情報例は、「太陽光パネルで夏は涼しく冬は暖かく」の図 4 である。この情報は、太陽光パネルの意外と知られていないメリットとして NPO 法人上田市民エネルギーの皆様の印象にも残っていた情報であり、太陽光パネルを設置することによって夏は涼しく冬は暖かく過ごすことができるというメリットに関する情報である。

第 5 章の動機づけ情報例は、「脱炭素先行地域に上田市が選ばれたこと、知ってますか？」の図 5 である。アンケートの回答者は、自分が住んでいる地域が脱炭素先行地域に選定されていることを知らない可能性が高く、上田で始まる新しいチャレンジという文言からポジティブな感想を抱くのではないかという仮説から、このような情報を作成した。

3. MM アンケート調査

アンケート調査は、2024 年 9 月 10 日～10 月 15 日の期間にて、別所線沿線の下之郷/東五加/下本郷/中野/上本郷/十人の 6 自治会、1338 世帯(各世帯 3 部ずつ)の 18 歳以上を対象に行った。郵送または web にて回収し、回収サンプル数は 244 人であった。

分析の結果、特に別所線の情緒的な情報や利便性向上(便数増加)、地域の脱炭素化に関する情報の評価が高く、今後、脱炭素先行地域において実施する MM の動機づけ情報作成に際し有効な情報を明らかにすることができた。また、個人属性/心理尺度が動機づけ情報に対する心の変化にどのように影響するかを把握する重回帰分析により、動機づけの尺度に正の影響を与える属性が明らかになった。特に、最寄駅が大学前駅でパート/アルバイトをしている女性は、パークアンドライドを利用して別所線に乗るような施策に心が動きやすい可能性が示唆された。また、最寄駅が大学前駅かつ仕事等で外出する人は、別所線をポジティブに認識し、別所線に対する情緒的な動機づけ情報に心が動きやすい可能性が示唆された。また、世帯構成が夫婦のみであるよりも二世帯同居している人は別所線に乗ろうと思うことが示された。

これらの結果より、今後の別所線の利用促進 MM には、ターゲットごとに本研究で得られた有効な動機づけ情報を活用することで効果が期待できる可能性が示唆された。

参考文献

- 1)環境省ホームページ「上田市:ローカル鉄道と市民がともに支え合う『ゼロカーボン×交通まちづくり』」 <https://policies.env.go.jp/policy/roadmap/assets/preceding-region/4th-teiansyo-06.pdf>
- 2)藤本宣、佐々木洋典、谷口綾子、中原慎二:国民健康保険特定保健指導におけるモビリティ・マネジメントー健康福祉部署と都市交通部署の連携ー、土木研究学術研究・論文集第 55 巻、Vol.55、7427、20

2. ニュース／トピックス

●第50回EST脱炭素交通創発セミナーのアーカイブ動画を掲載しました！【EST普及推進委員会、エコモ財団】

2月16日に開催したEST脱炭素交通創発セミナー（テーマ：「交通分野の脱炭素化のこれまでとこれから」）のアーカイブ動画を公開しました。以下URLからご視聴ください。

https://www.youtube.com/watch?v=qyYeyESZuc&list=PLgFW3RIUC_AQWVMarQVIhuL5Dd6jRvdGq

（YouTubeエコモ財団チャンネル）

●「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案」を閣議決定～「交通空白」等の解消による持続可能な地域公共交通の実現に向けて～【国土交通省】

国土交通省は、地域の輸送資源のフル活用、共同化・協業化等を推進することで「交通空白」等を解消し、持続可能な地域公共交通の実現を図るための「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律の一部を改正する法律案」が閣議決定されました。

自動車地域旅客運送サービス再構築事業の創設やモビリティデータの活用等が法律案に盛り込まれています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/sogo12_hh_000505.html

●地域循環共生圏セミナー2025の開催レポートを公開【環境省】

環境省は、2025年12月～1月に開催した「地域循環共生圏セミナー2025」について、各回の開催レポートを公開しました。

<https://chiikijunkan.env.go.jp/tsukuru/seminar/2025/>

●「物資の流通の効率化に関する法律の一部を改正する法律案」を閣議決定【国土交通省】

国土交通省は、ドライバーの負担軽減を図りつつ物流を維持するため、一つの長距離輸送を複数のドライバーで分担する「中継輸送」を推進することを内容とした「物資の流通の効率化に関する法律の一部を改正する法律案」が閣議決定されました。

https://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha04_hh_000351.html

●令和7年度（補正予算）「ゼロエミッション船等の建造促進事業」の公募開始【国土交通省、環境省】

国土交通省は、「ゼロエミッション船等の建造促進事業」の公募を開始しました。公募受付期間は4月17日までです。

本事業は、環境省との連携の下、ゼロエミッション船等の建造に必要な生産設備等の整備を支援することにより、これら船舶の国内供給体制を世界に先駆けて構築し、市場導

入促進による CO₂の排出削減を進めるとともに産業競争力強化・経済成長を図ることを目的としています。

https://www.mlit.go.jp/report/press/kajji05_hh_000328.html

●特定自動運行(自動運転レベル 4)の一般試乗会開催【塩尻市、塩尻市振興公社、アルピコ交通、アルピコタクシー、A-Drive、アイサンテクノロジー、ティアフォー、損害保険ジャパン】

塩尻市、一般財団法人塩尻市振興公社、アルピコ交通株式会社、アルピコタクシー株式会社、A-Drive 株式会社、アイサンテクノロジー株式会社、株式会社ティアフォー、損害保険ジャパン株式会社は、塩尻駅から塩尻市役所間における特定自動運行(レベル 4)の一般試乗を開始しました。試乗期間は 3 月 27 日までです。

今回は特定自動運行主任者(システムを監視する者)を車内運転席に配置して運行します。特定自動運行において、特定自動運行主任者は「開始」「終了」のみの操作を行い、運転操作をすることはありません。

<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/10/61747.html>

●シェアサイクル実証事業について【大津市、チャリチャリ】

大津市は、『2050 年ゼロカーボンシティ』実現に向けて、「エコ移動」の普及を図ることを目的に、チャリチャリ株式会社を共同事業者としてシェアサイクル事業を開始します。事業開始は 4 月 1 日からです。

本事業は、2024 年から続いてきた「エコ移動の推進に向けたシェアサイクル導入実証事業」において、CO₂削減や環境意識向上などの一定の効果が認められ、本格事業へ移行するものです。

<https://www.city.otsu.lg.jp/soshiki/030/1121/g/z/62615.html>

●福祉介護・共同送迎サービス「ゴイッショ」の実証実験を実施【川西市、ダイハツ】

川西市は、ダイハツ工業株式会社が提供する福祉介護・共同送迎サービス「ゴイッショ」の実証実験を開始しました。実証期間は 3 月 27 日までです。

本実証実験は、川西市が推進する「介護人材確保プロジェクト」の一環で「AI 共同送迎サービス事業」として実施するもので、従来の「ゴイッショ」の特徴である朝・夕の共同送迎の実施とは異なり、一日型デイサービスで昼時間に発生する送迎車両とドライバーの遊休時間を活用し、別の半日型デイサービスにおける昼の送迎業務を担う取組みです。

<https://www.daihatsu.co.jp/goissho/oshirase/20260302.htm>

●移動を通じた顧客体験価値を豊かにするプロジェクト「Moving for Good Days Project」始動【東急電鉄】

東急電鉄は、中期事業戦略において掲げている「新たな移動の創出」の取組みをより飛躍的かつ具体的に推進するため、移動を通じた顧客体験価値を豊かにする施策を「Moving

for Good Days Project」として東ね、関係部門が連携のもと、その推進を一層加速させていくことを発表しました。

本プロジェクトは、移動における「リアル×デジタル」の融合を通じて、顧客視点での体験価値を向上させることを目指しています。

<https://www.tokyu.co.jp/company/information/detail/60206.html>

●再生可能エネルギー事業の協働実施について ～「合同会社 RD ソーラーパワー」への出資を通じた脱炭素化の取組み【日本政策投資銀行、小田急、京王、京成、京急、西武、相鉄クリーンエナジー、東急、東武】

株式会社日本政策投資銀行(DBJ)、小田急電鉄株式会社、京王電鉄株式会社、京成電鉄株式会社、京浜急行電鉄株式会社、西武鉄道株式会社、相鉄クリーンエナジー株式会社、東急電鉄株式会社および東武鉄道株式会社は、合同会社 RD ソーラーパワーへの出資を通じ、再生可能エネルギー事業を協働実施することとし、発電所建設工事を開始します。

本プロジェクトは、私鉄・グループ企業 8 社が DBJ と協働して、RD 社を通じ自ら太陽光発電所を開発・所有・運営し、発電された再生可能エネルギー由来の電力を鉄道事業等で使用するという、複数の私鉄・グループ企業と金融機関が連携する初の取組みみです

https://www.dbj.jp/upload/dbj_news/docs/015eb4aaa4a986242e55be4b02068d58.pdf

●電気バス「ELEC CITY TOWN」が通学バスとして関西初となる本格運行を開始【Hyundai Mobility Japan、大阪芸術大学、河南町、エムケイ観光バス】

Hyundai Mobility Japan 株式会社は、大阪芸術大学と河南町、エムケイ観光バス株式会社と連携し、喜志駅と大阪芸術大学を結ぶ通学バスとして、EV バス「ELEC CITY TOWN (エレク シティ タウン)」の本格運行を開始しました。

本取組みは、EV バスが通学バスとして運行されることで、学生や地域住民が日常的に EV バスの価値を体験し、電動化への理解促進につながることを期待するものです。

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000306.000095868.html>

●大阪市全 24 区でオンデマンドバスを運行 ～新たに 8 エリアで運行を開始します～【Osaka Metro Group】

Osaka Metro Group は、新たに大阪市内 8 エリア(此花エリア、大正エリア、西淀川エリア、淀川エリア、東淀川エリア、旭エリア、住之江エリア、西成エリア)でオンデマンドバスの運行(社会実験)を開始します。運行期間は 2026 年 3 月 26 日から 2027 年 3 月 25 日までです。

本取組みは、オンデマンドバスを新たなモビリティの軸にするべく、2021 年から社会実験を行ってきており、今回のエリア拡大で大阪市全 24 区での運行が開始します。

https://subway.osakametro.co.jp/news/news_release/20260309_odb_area_24.php

●福岡県古賀市で自動運転バス「自動運転のるーと」実証開始【ネクスト・モビリティ】

福岡県古賀市にて、ネクスト・モビリティ株式会社がシステム導入支援および運行支援を担う「自動運転のるーと」の実証運行を開始しました。実証期間は3月30日までです。

本実証はAIオンデマンドバス「のるーと」と自動運転バスのシステムを連携させた全国初の取り組みであり、既に「のるーと」を導入している全国70以上の自治体等への横展開を見据え、持続可能な地域公共交通モデルの構築を目指しています。

<https://www.next-mobility.co.jp/news/koga-self-driving/>

●北山エリアを「e-Palette(イーパレット)」で賑わい創出【北山街協同組合、北山エリア交流連携会議、トヨタ自動車九州】

北山街協同組合と北山エリア交流連携会議(通称:北山ぱーとなーず)は、トヨタ自動車九州株式会社の協力のもと、持続可能な商店街主導の賑わいモデル創出を目指し、トヨタの次世代モビリティ「e-Palette」を活用したエリア活性化実証実験を開始しました。実証期間は3月29日までです。

<https://rekisaikan.jp/news/post-news/post-20742/>

●春休みとゴールデンウィークはチャリチャリ&トヨタシェアで出かけよう!【チャリチャリ、トヨタレンタリース熊本】

チャリチャリ株式会社は、株式会社トヨタレンタリース熊本と連携し、期間限定で熊本・菊陽および天草エリアの対象ポートに到着した利用客を対象に「トヨタシェア10%割引クーポン」を提供するキャンペーンを開始しました。期間は5月15日までです。

本取り組みは、春休みやゴールデンウィークの行楽シーズンにおける移動の選択肢を広げ、地域内回遊のさらなる活性化に繋がることを期待し実施するものです。

<https://charichari.bike/blog/kmj-promotions-20260317>

●ドコモ・バイクシェア、新ブランド「NOLL」へ刷新 ~乗る人も乗らない人も安心安全なモビリティサービスへ~【ドコモ・バイクシェア】

株式会社ドコモ・バイクシェアは、市場環境の変化や多様化する移動ニーズに対応するため、サービスを全面的に刷新し、サービスブランドを「NOLL」へ変更することを発表しました。ブランド変更は5月1日からです。

今回の新ブランドへの刷新により、新型車両の導入や、利用実態に合わせた料金制が導入されます。

<https://www.d-bikeshare.com/news/detail/20260303>

●自動運転トラックで引越家財の輸送を実証 ~業界初「輸送」を自動運転トラックに置き換えて、より高品質の「サービス」を実現へ~【サカイ引越センター、ハート引越センター、T2】

<https://thanglong.chinhphu.vn/goi-mo-chinh-sach-thuc-day-chuyen-doi-giao-thong-xanh-tu-kinh-nghiem-quoc-te-103260317113830261.htm>

●水素バスがまもなく運行開始【ポーニャ】

ポーニャの交通事業会社 Tper は、ポーニャ市で 2026 年 5 月までに 127 台の水素燃料電池バスを導入することを発表しました。運行開始は 2026 年 5 月の予定です。

本事業で導入される車両は Solaris Urbino 12 hydrogen で、1 回の充填で 400km 以上走行し、年間 7,700 トンの CO₂削減が可能です。2030 年のカーボンニュートラル達成に向けた重要な施策となります。

<https://www.tper.it/bus-idrogeno-Bologna?form=MG0AV3&utm>

3. イベント情報

●泉区交通フェスタ 2026

日時:2026年3月28日(土)10:00~16:00

場所:ゆめが丘ソラトス吹抜け広場・高架下広場ほか

主催:相鉄グループ

<https://www.yumegaoka-soratos.com/eventnews/detail/?cd=000186>

●鉄道 de あそぼう♪2026

日時:2026年4月4日(土)、5日(日)、5月3日(日)他

場所:大牟田市石炭産業科学館屋内外

主催:大牟田市石炭産業科学館

<https://sekitankan.com/event/20260404tetudoudeasbou/>

●ゴールデンウィークファミリーフェスタ ～鉄道フェア 2026～

日時:2026年5月2日(土)、3日(日)11:00~15:00(受付開始 10:30)

場所:ホテルメトロポリタンエドモント宴会場

主催:JR 東日本

https://edmont.metropolitan.jp/banquet/plan/plan/gw_family_event.html?utm_source=tvtokyo_plus&utm_medium=article&utm_campaign=entry-2333

●AI オンデマンド交通シンポジウム 2026

日時:2026年5月15日(金)13:00~18:00

場所:東京・有楽町(予定)及びオンライン配信

主催:AI オンデマンド交通研究会

<https://ai-ondemand.com/activity/symposium2026/>

●京急ファミリー鉄道フェスタ 2026

日時:2026年5月17日(日)9:40~16:00

場所:京急電鉄久里浜工場

主催:京急電鉄

https://www.keikyu.co.jp/company/news/2025/20260317HP_25203RK.html

●まちづくりデザイン WEEK～健康まちづくり・地域交通 MaaS・GXDX CITY

日時:2026年7月16日(木)10:00~17:00(予定)

場所:秋葉原 UDX ギャラリーNEXT-1,2

主催:株式会社 JTB コミュニケーションデザイン、健康まちづくり実行委員会

<https://www.citydesignweek.jp/>

●第 21 回日本モビリティ・マネジメント会議(JCOMM)

日時:2026 年 9 月 4 日(金)、5 日(土)

場所:新潟県湯沢町 湯沢カルチャーセンター

主催:(一社)日本モビリティ・マネジメント会議

<https://www.jcomm.or.jp/convention/>

4. その他

- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ

<https://www.green-m.jp>

- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/ecommuters/ecommuters_top.html

- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！

配信申込はこちらから

<https://mm-education.jp/mailmagazine.html>

- グリーンスローモビリティに関する情報を掲載しています！

https://www.ecomo.or.jp/environment/gsm/gsm_top.html

- 「運輸・交通と環境」を発行しています！

(日本語版)

<https://www.ecomo.or.jp/environment/unyukotsutokankyou/index.html>

(英語版)

<https://www.ecomo.or.jp/english/tej.html>

- 記事募集中！

本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。

EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecommo.or.jp(担当: 中道)

発行: 環境的に持続可能な交通(EST)普及推進委員会事務局

(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<https://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.bmb.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <https://www.estfukyu.jp/>